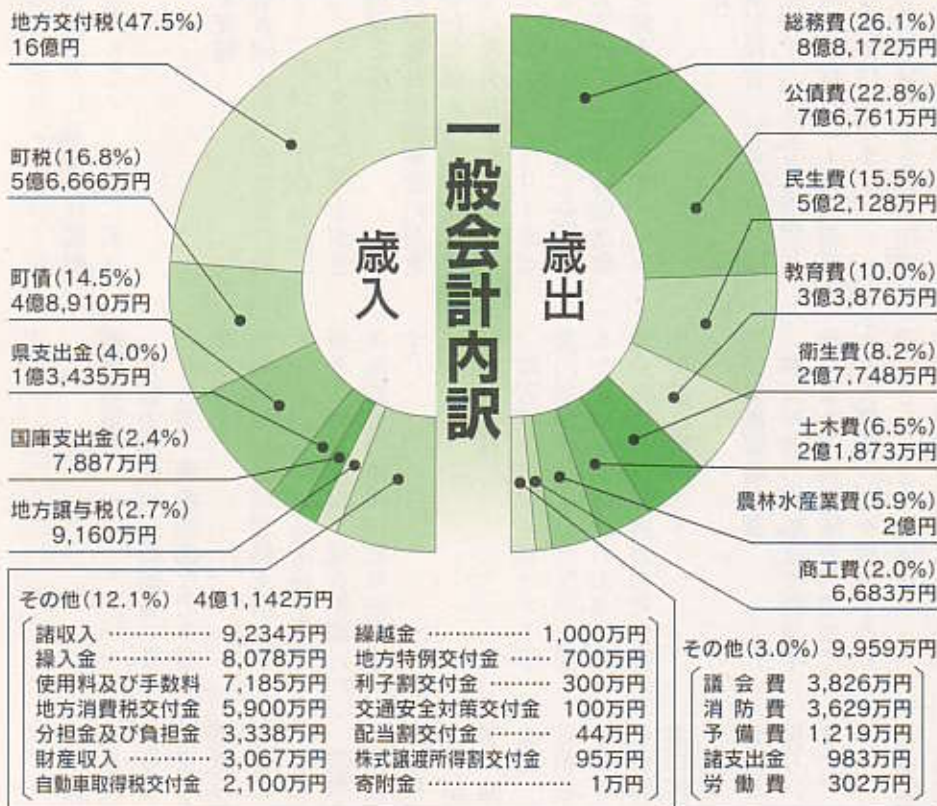


一般会計予算総額 33億7,200万円

平成18年度

町の当初予算

笑顔こぼれる協働のまちを目指して



平成18年度の南木曾町の当初予算が3月定例議会に上程され、審議の結果、原案どおり可決されました。今年度の一般会計は、33億7千200万円、17年度の当初予算と比較して5・1%の減額となりました。

近年の厳しい社会情勢を背景に、進められている国の三位一体改革（国庫補助金等・税源移譲・地方交付税を一体的に見直す改革）等により財政調整基金（積立金）4千万円を取崩しましたが、それでも一般財源（町の裁量で自由に使えるお金）ベースで1千483万円の減額となっています。特に、平成18年度は、自立推進委員会の検討を受けて策定された「自立推進計画」に沿った予算編成となっています。

主な事業は、道路基盤整備では、坪川橋架替事業、蘭広瀬線舗装、東町下線調査、与川線改良、八人石線改良を中心に計上しました。

教育文化では、南木曾中学校RC校舎改修事業を平成17年度事業に繰り上げ、18年度に繰越して実施してまいります。また、平成19年度からの小学校の統合に必要な経費のほか、学校の振興経費、社会教育関係経費、妻籠宿防災工事等を計上しました。

生活環境関係では廃棄物処理対策経費・環境対策経費のほか住宅耐震調査経費、町営住宅改良事業等を計上しました。

保健福祉関係では各種検診費用、各種医療費、高齢者・児童・障害者福祉

対策費など計上したほか、新たに乳幼児医療費の対象年齢を小学校3年生まで引き上げました。

産業振興面では、企業・観光振興対策事業、農業基盤整備や中山間地域直接支払制度等農業振興対策、林業振興対策事業等を計上しました。

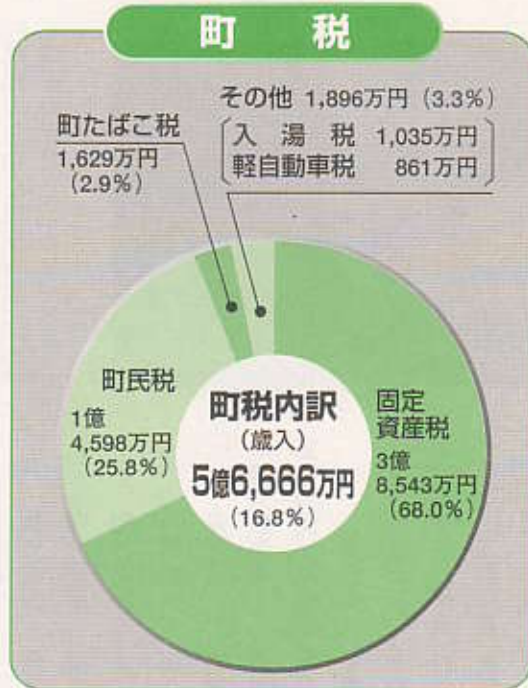
次に特別会計につきましては、国民健康保険等事業会計、簡易水道等企業会計合わせて9会計で19億181万円を計上し、17年度当初予算と比較して6%の増額となっています。

浄化槽市町村整備推進事業では、木曾川右岸地域の合併浄化槽整備を引き続き実施する計画であります。また、簡易水道事業では、田立簡易水道改良、川向簡易水道の計器類整備を計上しました。なお、国民健康保険ではヘルスアップ事業を盛り込んでいます。特別会計全体では、今まで整備してきた事業の償還金の増額、医療費の伸びにより増加傾向にあります。



一般会計の主な事業

●総務費	
木曾広域連合負担金（CATV負担金含む）	4億9,569万円
県知事選挙費	537万円
●民生費	
社会福祉協議会運営費補助金	1,192万円
障害者支援費制度事業	3,820万円
老人福祉施設入所者措置費	2,818万円
通院バス・高料金対策	339万円
福祉医療費（重度心身・老人・乳幼児・母子・父子）	2,170万円
●衛生費	
浄化槽設置整備事業補助金	610万円
基本健康診査等委託料	1,327万円
坂下病院建設負担金	796万円
●農林水産業費	
中山間地域直接支払制度交付金	3,390万円
維持適正化事業	1,078万円
森林整備地域活動支援事業交付金	1,009万円
町有林造成事業	700万円
林業振興事業補助金	764万円
有害鳥獣駆除対策事業	364万円
●商工費	
小規模事業指導費補助金	450万円
融資保証料	250万円
観光地整備事業補助金	130万円
●土木費	
町道舗装補修事業（蘭広瀬線）	1,220万円
町道新設改良事業（東町下線・与川線・八人石線）	4,100万円



町道橋梁架替事業（坪川橋）	4,000万円
町営住宅改良事業	1,178万円
●消防費	
消防団運営経費	3,379万円
●教育費	
小学校統合対策	1,694万円
妻籠宿重伝建保存事業	2,198万円

特別会計予算総額 19億181万円

特別会計当初予算額

土地取得
530万円
(対前年度当初比2.5%減)

国民健康保険
5億1,750万円
(対前年度当初比11.2%増)

下水道事業
8,420万円
(対前年度当初比0.3%減)

簡易水道事業
2億6,935万円
(対前年度当初比3.4%増)

農業集落排水事業
7,320万円
(対前年度当初比13.7%増)

妻籠宿有料駐車場
5,518万円
(対前年度当初比2.0%減)

浄化槽市町村整備推進事業
5,901万円
(対前年度当初比5.0%増)

宅地造成事業
1,593万円
(対前年度当初比14.9%減)

老人保健
8億2,214万円
(対前年度当初比5.1%増)